Creative Enzymes®

ネイティブ バチルス・ステアロテルモフィルス ピルビン酸キナーゼ

Cat. No. NATE-0649

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ピルビン酸キナーゼは解糖系に関与する酵素です。これは、ホスホエノールピルビン酸（PEP）からADPへのリン酸基の移動を触媒し、1分子のピルビン酸と1分子のATPを生成します。
用途	バチルス・ステアロテルモフィルス由来のピルビン酸キナーゼは、ホスホフルクトキナーゼとピルビン酸キナーゼの遺伝子がオペロンを構成するという証□を評価する研究に使用されました。1 また、ピルビン酸キナーゼ活性に□するLys221活性部位の重要性を調□する研究にも使用されました。
別名	ピルビン酸キナーゼ; EC 2.7.1.40; 9001-59-6; ホスホエノールピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールトランスフォスホリラーゼ; ピルビン酸キナーゼ (リン酸化); フルオロキナーゼ; フルオロキナーゼ (リン酸化); ピルビン酸キナーゼ; ピルビン酸ホスホトランスフェラーゼ; ATP:ピルビン酸 2-O-ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

由来	バチルス・ステアロテルモフィルス
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.7.1.40
CAS登□番号	9001-59-6
活性	100-300 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	トリスバッファー塩を含む凍結乾燥粉末、pH 8.5
単位定義	1ユニットは、pH 7.2、30°Cで1分あたり1.0 µmoleのリン酸（エノール）ピルビン酸をピルビン酸に□換します。

保管・発送情報

安定性	2-8°C